

- 問1 1995年の沖縄戦終結50周年を記念して、沖縄県糸満市の平和祈念公園内に建立された記念碑に関する説明として、最も適切なものはどれですか。
(2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|---|
| 1. サンフランシスコ平和条約の調印を記念し、世界の恒久平和を願って制作された。 | 2. 国籍や軍人・民間の区別なく、沖縄戦で亡くなったすべての人々の氏名が刻まれている。 | 3. 沖縄戦に従軍し、亡くなった女子学徒隊を慰霊するために建立された。 | 4. 太平洋戦争での戦没者だけでなく、原子爆弾による犠牲者を追悼するために建てられた。 |
|--|---|-------------------------------------|---|
- 問2 1972年の沖縄返還よりも後の時期に起こった出来事として、日本の政治体制を大きく変えた事例を説明したものを選びなさい。
(2023年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|------------------------------------|
| 1. 日本で最初となる東京オリンピックが開催され、高速道路などのインフラが整備された。 | 2. 細川護熙を首相とする非自民・非共産の連立内閣が成立し、五五年体制が幕を閉じた。 | 3. 民主的な教育の基本原則を定めるため、連合国軍総司令部の指導下で教育基本法が制定された。 | 4. 高度経済成長の過程で、深刻な公害問題が社会問題として激化した。 |
|---|--|--|------------------------------------|
- 問3 1980年代後半から1990年にかけての、世界の情勢とドイツの動きについて説明した文として、背景と因果関係が正しいものはどれですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. ソ連のゴルバチョフによる改革や東欧の民主化を背景に、冷戦が終結へと向かい、東西ドイツの統一が実現した | 2. ソ連が解体されたことを直接のきっかけとして、東ドイツが西ドイツに吸収される形でベルリンの壁が建設された | 3. 冷戦による東西陣営の対立が激化したため、ドイツを二つの国に分断し、ベルリンの壁を建設することが決まった | 4. アメリカとソ連が冷戦の開始を宣言したことをきっかけに、ドイツは資本主義を掲げて再統一を果たした |
|---|--|--|--|
- 問4 1990年から1992年にかけての国際連合加盟国数の推移を見ると、短期間に加盟国が急増しています。この背景として最も適切な歴史的事象はどれですか。
(2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. アフリカの年と呼ばれた時期に、多くの植民地が独立を果たしたこと | 2. ドイツの統一に伴い、東西に分かれていた国家が一つにまとまったこと | 3. ロシア革命が起こり、ソビエト社会主義共和国連邦が樹立されたこと | 4. ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問5 北海道を中心に独自の言語や文化を育んできた人々について、2019年にはその誇りを尊重し、地域や産業の振興を図るための新しい法律が施行されました。この法律において、初めて日本の「先住民族」として法的に明記された人々を何と呼びますか。
(2026年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|----------|
| 1. アイヌ民族 | 2. 琉球民族 | 3. マオリ | 4. アボリジニ |
|----------|---------|--------|----------|
- 問6 一九九一年にソ連が解体に至った主な背景として、当時の国内状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. すべての共和国が連邦の維持を強く望んだが、国際連合の命令により解体されたため | 2. 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため | 3. 社会主義体制のもとで経済成長が著しく、国民がさらなる自由を求めたため | 4. 他国からの大規模な武力攻撃を受けて、連邦政府が機能を停止したため |
|---|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問7 江戸時代、幕府がキリスト教の禁止を徹底し、さらに貿易の利益を独占するために、「日本人の海外への渡航」や「海外に住む日本人の帰国」を禁止した一連の法令を何というか。
(2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. 外交忌避令 | 2. 鎖国令 | 3. 武家諸法度 | 4. 異国船打払令 |
|----------|--------|----------|-----------|
- 問8 1980年代後半、ソビエト連邦でゴルバチョフによる改革が進められる中で冷戦が終結へと向かいました。この流れの中で、1990年にベルリンの壁の崩壊を経て実現した出来事として正しいものを選び取から選びなさい。
(2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-------------|-----------------|--------------|
| 1. 南北ベトナムの分断 | 2. 東西ドイツの統一 | 3. フルシャワ条約機構の強化 | 4. ソビエト連邦の結成 |
|--------------|-------------|-----------------|--------------|
- 問9 1980年に夏季オリンピックが開催された都市であり、当時のソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）の首都でもあったモスクワは、1991年のソ連解体後、現在はどの国の首都となっていますか。
(2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|--------------|----------|----------|
| 1. ウズベキスタン共和国 | 2. カザフスタン共和国 | 3. ロシア連邦 | 4. ウクライナ |
|---------------|--------------|----------|----------|
- 問10 平成時代の初期、冷戦が終結した後の国際情勢に関連して、日本が国際貢献のあり方を大きく変えるきっかけとなった出来事とその後の制度的な変化について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 湾岸戦争をきっかけに、多国籍軍への資金協力だけでなく、自衛隊などを派遣して協力するPKO協力が成立した。 | 2. アジア・アフリカ会議への参加をきっかけに、途上国への経済援助を義務づける制度が作られた。 | 3. 石油危機（オイルショック）をきっかけに、省資源・省エネルギーを推進する法律が制定された。 | 4. 国際連合の成立をきっかけに、日米安全保障条約の見直しが行われ、自衛隊の活動範囲が縮小された。 |
|---|---|---|---|
- 問11 現代の国際社会において、1967年に発足した「欧州共同体（EC）」から1993年の「欧州連合（EU）」への発展や、1992年の「地球サミット」の開催に共通する背景として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 国際連盟の失敗を教訓として、すべての加盟国が平等に一票を持つことで、大国の影響力を排除する体制を目指したこと。 | 2. 冷戦の終結に伴い、科学観測を目的とした国際極年の活動を政治的な軍事同盟へと格上げする必要が生じたこと。 | 3. アジア・アフリカ諸国の急速な経済成長に対抗するために、欧米諸国が独占的な経済圏を再構築しようとしたこと。 | 4. 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。 |
|--|--|---|---|
- 問12 1930年代から現在に至るまで、日本の輸入統計において原油や石炭などのエネルギー資源が常に高い割合を占めている理由として、日本の産業構造と自然環境の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. エネルギー資源を国内で大量に生産し、それを精製して再輸出する中継貿易が盛んであるため | 2. 電力のすべてを国内の石炭のみで賄う政策を継続しているため | 3. 工業化が進んでも、国内で消費するエネルギー資源の大部分を海外に依存せざるを得ないため | 4. 先端技術産業の発展により、レアメタル以外の資源が必要なくなったため |
|---|---------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問13 ユーラシア大陸の東端に位置し、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林地帯を貫く鉄道の終着点となっているロシアの都市について、その特徴を述べたものとして適切なものはどれか。
(2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. ライン川の河口付近に位置し、ポルターと呼ばれる大規模な干拓地を背景に酪農製品の輸出を行っている。 | 2. シベリア鉄道によって首都と結ばれ、軍港としての機能や豊富な鉱産資源の輸出拠点としての役割を持つ。 | 3. 1776年に建国された歴史を持ち、現在は大西洋に面した世界最大の物流拠点として発展している。 | 4. イギリスの植民地時代に建設された鉄道網を活用し、綿花の輸出を中心としたモノカルチャー経済を維持している。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 国籍や軍人・民間の区別なく、沖縄戦で亡くなったすべての人々の氏名が刻まれている。	沖縄県糸満市にある「平和の礎（いしじ）」は、沖縄戦におけるすべての犠牲者を追悼するために建てられました。最大の特徴は、敵味方や軍人・民間人を問わず、さらには日本、アメリカ、朝鮮半島、台湾など、亡くなったすべての人々の氏名を「刻銘」している点にあります。これは、過去の戦争の悲劇を教訓とし、国境を越えた平和の尊さを伝えるためのものです。
問2	答え 2 細川護熙を首相とする非自民・非共産の連立内閣が成立し、五五年体制が幕を閉じた。	戦後の歴史を整理すると、教育基本法の制定は1947年、東京オリンピックは1964年、高度経済成長期の深刻な公害問題は1960年代が中心であり、これらはいずれも1972年の沖縄返還より前の出来事です。1993年に成立した細川連立内閣は、沖縄返還から約20年後、冷戦終結後の国際情勢の変化や国内の政治改革への期待を背景に誕生したもので、長期間続いた自民党政権に代わる新しい政治の枠組みを示しました。
問3	答え 1 ソ連のゴルバチョフによる改革や東欧の民主化を背景に、冷戦が終結へと向かい、東西ドイツの統一が実現した	ソ連でゴルバチョフがペレストロイカ（改革）を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が加速しました。その結果、1989年に冷戦終結が宣言され、翌年に東西ドイツの統一が果たされました。ベルリンの壁は冷戦初期の1961年に東側から西側への人口流出を防ぐために建設されたものであり、冷戦の終結に向かう時期の動きとは逆の事象です。
問4	答え 4 ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと	冷戦の終結を象徴するベルリンの壁崩壊を経て、1991年にソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が解体されました。これにより、ウクライナや中央アジアの諸国など、それまでソ連の構成員であった多くの共和国が独立国家となり、それぞれが国際連合に加盟したため、1990年代初頭に加盟国数が劇的に増加しました。
問5	答え 1 アイヌ民族	2019年に施行された「アイヌ施策推進法（アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律）」により、アイヌの人々が日本の先住民族であることが初めて法律に明記されました。これまでは1997年のアイヌ文化振興法によって文化の保存が図られてきましたが、新法ではさらに一歩踏み込み、先住民族としての権利尊重や地域振興が目的となっています。
問6	答え 2 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため	一九八〇年代後半から、ソ連ではペレストロイカ（改革）と呼ばれる政治・経済の立て直しが進められました。しかし、この改革が経済的な混乱や食料不足を招き、政府への不満が高まったことで、連邦からの離脱を求める各共和国の独立運動に拍車がかかることとなりました。
問7	答え 2 鎖国令	徳川家光の時代に、ポルトガル船の来航禁止などとともに完成された政策です。これにより、長崎の出島など特定の窓口を通じた管理貿易の体制へと移行しました。
問8	答え 2 東西ドイツの統一	1989年に東欧諸国で民主化運動が広がり、象徴的であったベルリンの壁が崩壊しました。これを受けて、翌1990年に東ドイツが西ドイツに吸収される形で、分断されていた国家が一つに統合されました。これは冷戦終結を象徴する歴史的な出来事です。
問9	答え 3 ロシア連邦	ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）は1991年に解体されましたが、その中で最大の面積と影響力を持っていたロシア連邦が、ソ連の主要な国際的地位を継承しました。そのため、ソ連時代の首都であったモスクワは、そのまま現在のロシア連邦の首都となっています。
問10	答え 1 湾岸戦争をきっかけに、多国籍軍への資金協力だけでなく、自衛隊などを派遣して協力するPKO協力法が成立した。	平成時代に入り、地域紛争が多発する国際情勢の中で、湾岸戦争は日本に「資金以外の貢献」を求める国際的な圧力を生みました。この結果、政府は国際連合の平和維持活動への参加を決定し、法的枠組みとしてPKO協力法を成立させました。これは日本の戦後の外交・安全保障政策における大きな転換点となりました。
問11	答え 4 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。	第二次世界大戦後のヨーロッパでは、経済・政治的な統合によって紛争を抑止し、共通の利益を追求するために欧州共同体（EC）が作られ、後の欧州連合（EU）へと深化しました。一方、地球サミットは「持続可能な開発」をスローガンに、温暖化などの地球規模の環境問題に対して国際的な枠組みが必要であるという認識から開催されました。これらは、一国では対処できない課題に国際協力で挑む姿勢を示しています。
問12	答え 3 工業化が進んでも、国内で消費するエネルギー資源の大部分を海外に依存せざるを得ないため	日本は国土の面積が限られ、鉱物資源やエネルギー資源が極めて乏しいため、1930年代の軽工業中心の時代から現代の先端技術産業に至るまで、工業を維持・発展させるために必要な原油、石炭、天然ガスなどの資源を海外からの輸入に頼り続けています。この傾向は、産業構造が変化しても日本の貿易における一貫した特徴となっています。
問13	答え 2 シベリア鉄道によって首都と結ばれ、軍港としての機能や豊富な鉱産資源の輸出拠点としての役割を持つ。	ロシア東端のウラジオストク付近は、シベリア鉄道の終着点にあたります。この地域は「タイガ」と呼ばれる広大な針葉樹林が広がる地域を通り、首都モスクワなどの主要都市と結ばれています。天然の良港を活かした軍港や、シベリアの豊富な鉱産資源を輸出する物流拠点として、ロシアの経済・安全保障において重要な位置を占めています。